全建発第１８－１３５号
平成１８年８月４日

地方協会長　殿

社団法人　全日本建設技術協会
社団法人　全日本建設技術協会
会　長　　鈴　木　道　雄

第 517 回建設技術講習会(建設リサイクル)開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成 18 年 10 月４日（水）～６日（金）、鳥取県鳥取市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、建設リサイクル法の適正な運用と、循環型社会の構築に向けた公共工事のゼロエミッション化等の施策により、建設廃棄物の３Ｒ（発生抑制、再使用、再資源化）の推進が図られている中で、建設リサイクルの現状と課題、３Ｒの取り組みについて、具体の事例を含む最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は、鳥取県(予定)・鳥取市(予定)の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴　講　料：正会員・特別会員・賛助会員……　9,800 円〔うち昼食代 1,600 円（2 日分)〕
正会員（地元〔鳥取県内〕）　……　3,000 円〔　　〃　　〕
非会員…… 14,800 円〔　　〃　　〕
※正会員（地元）とは、開催地（鳥取県）内に勤務の正会員（特別・賛助会員は対象外）
※聴講のみの参加は可能です

③現場研修料：……　7,000 円〔うち昼食代 1,200 円〕
※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写)〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

⑤申込書送付先：〒107-0052　東京都港区赤坂3－21－13　昭栄赤坂ビル７Ｆ **（ビル名７月より変更）**
（社）全日本建設技術協会 事業課　TEL 03(3585)4546　FAX 03(3586)6640

⑥振込銀行口座：三菱東京ＵＦＪ銀行 赤坂見附支店　普通預金口座 No.0311142
口座名義：社団法人　全日本建設技術協会
お振込の際必ず、お振込人名義の初めに、開催回数の「５１７」をつけ加えて下さい。

⑦申込締切日：**平成１８年９月１５日（金）必着**　（お申込みが締切日以降に到着したものは受理できない場合があります。）

※取り消し・返金について
申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

①	平成１８年９月２２日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成１８年９月２９日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記②を過ぎてからの取り消し		返金できません

※　テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。
※　事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度(CPDS)」に認定された講習会です。（CPDS 登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい　http://www.zenken.com/

全建発１８～１３７号
平成１８年８月４日

（機関管理者）　殿

社団法人　全日本建設技術協会
会 長　　鈴木　道雄

第５１７回建設技術講習会（建設リサイクル）開催について

謹啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員８万余名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国づくり、少子化・高齢化等への対応、地域再生・都市再生の推進、環境対策、交通安全の確保、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任､技術開発など､多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められております。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第 **517** 回建設技術講習会では、建設リサイクル法の適正な運用と、循環型社会構築に向けた公共工事のゼロエミッション化等の施策により、建設廃棄物の３Ｒ（発生抑制、再使用、再資源化）の推進が図られているなかで、建設リサイクルの現状と課題、３Ｒの取り組みについて、具体の事例を含む最新の情報を得ることを目的としております。 本講習は､公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。　　敬具

全建発第１７～３１４号
平成１８年　２月１３日

（機関管理者）　殿

社団法人　全日本建設技術協会
研修委員長　　佐　藤　直　良
（国土交通省 大臣官房 技術調査課長）

平成１８年度建設技術講習会について

謹啓　時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、今日、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国づくり、少子化・高齢化等への対応、地域再生・都市再生の推進、環境対策、交通安全の確保、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められており、このため職員研修の役割は従来にも増して重要と考えております。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成１８年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるのものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただければ幸いであります。　　敬具

主催：(社)全日本建設技術協会、鳥取県（予定)、鳥取市（予定）　後援：国土交通省

第 517 回建設技術講習会　日程

（建設リサイクル ～循環型社会構築に向けたゼロエミッションの実現～）

―建設リサイクル法の適正な運用と、公共工事のゼロエミッション化等の施策により、建設廃棄物の３Ｒ（発生抑制、再使用、再資化）の推進が図られている。 建設リサイクルの現状と課題、３Ｒの取り組みについて、具体の事例を含む最新の情報を得る―

会　場　……　鳥取県立県民文化会館 梨花ホール
〒680-0017　鳥取市尚徳町 101-5　TEL0857-21-8700㈹

1日目　平成１８年１０月４日（水）			敬称略
10：00 ～ 10：20	あいさつ 〃	鳥取県知事 鳥取市長	片　山　善　博 竹　内　　功
10：20 ～ 11：50	建設リサイクルに関する今後の動向	国土交通省総合政策局事業総括調整官室 建設副産物企画官	野　田　　勝
13：00 ～ 14：30	不法投棄の構造と産業廃棄物処理業 優良化推進事業の公開データ活用方法	千葉県県土整備部印旛地域整備センター 用地課長（千葉県産廃Ｇメン）	石　渡　正　佳
14：40 ～ 15：40	【特別講演】 弥生の文化と技術 ～青谷上寺地遺跡の調査から～	鳥取県教育委員会埋蔵文化財センター 所長	久　保　穣二朗
15：50 ～ 16：20	【地域事業の紹介①】 鳥取沿岸の総合的な土砂管理ガイドライン	鳥取県県土整備部河川課 水防係長	木　本　晃　孝
16：20 ～ 16：50	【地域事業の紹介②】 米子空港 2,500m化事業	鳥取県県土整備部空港港湾課 空港係長	松　本　耕　二
2日目　１０月５日（木）			敬称略
9：40 ～ 10：40	産業廃棄物行政全般及び建設汚泥関連の 最近の話題について	環境省廃棄物・リサイクル対策部 産業廃棄物課 課長補佐	築地原　康　志
10：50 ～ 11：50	中国地方における建設リサイクルの 最近の動向	国土交通省中国地方整備局企画部 技術管理課長	野　村　芳　包
13：00 ～ 14：00	建設産業廃棄物処理業界の取り組みについて	社団法人全国産業廃棄物連合会 調査部 次長	香　川　智　紀
14：10 ～ 15：10	建設副産物のリサイクル技術開発の現状	独立行政法人土木研究所 技術推進本部 主席研究員	大　下　武　志
15：10 ～	閉会のあいさつ	鳥取県建設技術協会長 （鳥取県県土整備部次長）	谷　口　真　澄
	地域の独自調査		

【現場研修】　３日目　１０月６日（金）

ＪＲ鳥取駅南口（8:20）出発

→　鳥取砂丘・湯山海岸　海岸侵食対策事業〔サンドリサイクル〕（下車説明）

→　都市公園事業　中国庭園燕趙園（下車説明）

→　昼食（米子市内）

→　米子空港 2,500㎡ 化事業（下車説明）（14:50）説明後解散

→　一般国道９号　名和・淀江道路（車窓見学）

→　街路整備事業　水木しげるロード（下車見学）

→　ＪＲ米子駅（15:40）着後解散

※　上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
※　講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

ＣＰＤＳ学習プログラム認定講習会

第５１７回建設技術講習会 現場研修事業の概要

１　鳥取砂丘・湯山海岸　海岸侵食対策（サンドリサイクル）

…… 鳥取県鳥取市福部町湯山～海士

湯山海岸は、鳥取砂丘に隣接する長大な砂浜海岸で、背後には交流施設や鳥取砂丘の観光道路となっている県道が控え、海水浴等の利用も盛んな海岸であるが、近年、冬期風浪などの影響により侵食が著しく、その対策として人工リーフの整備により砂浜の回復を図っている。

２　都市公園事業　中国庭園燕趙園

…… 鳥取県東伯郡湯梨浜町引地

中国燕趙園は、平成 17 年度に開園 10 周年を迎え、平成 18 年度からは指定管理者制度を導入しています。

この施設は、中国河北省の技師が設計し、中国産の材料を輸入して造られました。丹念な線で描かれた壁画や配色の感覚まで、全てに中国らしさがにじんでいます。また遠くに望む山々や東郷湖も借景とされ、周辺の自然とみごとに調和させた造園はすばらしいの一言。庭園を一周するなかに、28 景が巧みに配され、歴代の中国皇帝が好んだ壮大な理想郷が表現されています。

３　街路整備事業「水木しげるロード」

…… 鳥取県境港市本町

境港市は「鬼太郎に逢える町」。漫画家　水木しげる氏のふるさとです。すっかり境港の町の顔になった「水木しげるロード」。水木しげる氏の漫画に登場する妖怪たちがブロンズ像になって境港の町に配置されています。119 体の妖怪たちが、境港駅から商店街へと続く道沿いに 800m にわたって出迎えてくれます。こういった整備により、既存の観光施設の充実と施設周辺の環境整備を図るとともに、広域観光の一翼を担う地域として近隣市町村と協調しながら観光宣伝の強化を進めています。

４　米子空港 2,500m 化事業

…… 鳥取県境港市佐斐神町

美保飛行場（通称：米子空港）は、弓浜半島の中央部に位置する自衛隊との共用飛行場です。平成８年３月に滑走路を 2,000mに延長し、ジェット機が就航したところですが、大型機の就航により輸送効率・能力を向上させるため、さらに滑走路を 2,500m 化する拡張事業を実施している。

第 517 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿　泊　料　金：宿泊希望者には鳥取市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
宿 泊 予 約 金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に**下記旅行会社に直接送金下さい。**
送　　金　　先：㈱日本旅行　東京東支店　TEL 03-3662-1725　FAX 03-3669-5637
〒103-0012　東京都中央区日本橋堀留町 1-10-12
銀行口座　みずほコーポレート銀行　十五号支店
(普)№3101299　名義　㈱日本旅行
お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「517」を付け加えて下さい。
問い合わせ先：㈱日本旅行　東京東支店　TEL 03-3662-1725「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消し・返金について

平成１８年９月２２日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成１８年９月２９日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舎名、宿泊料

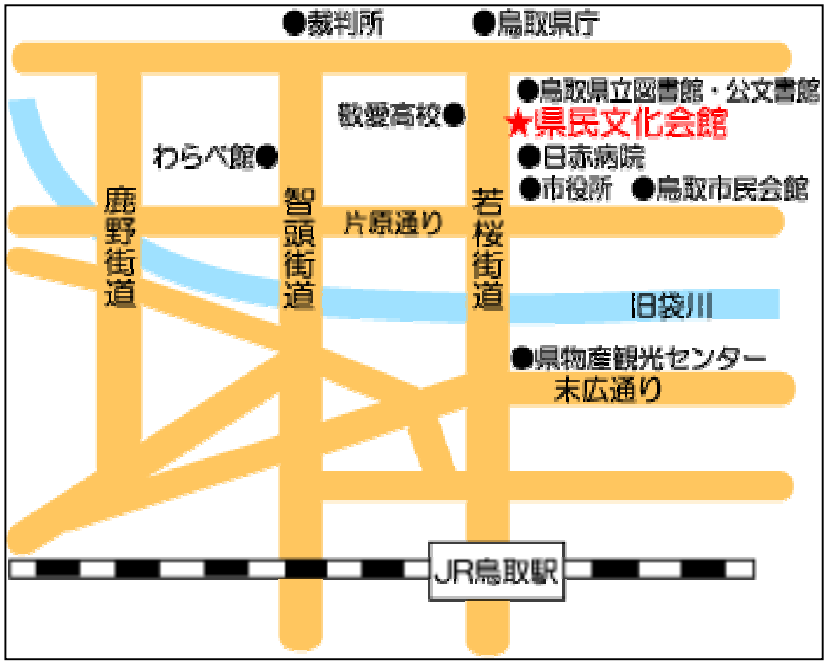
平成１８年１０月３日(火),４日(水),５日(木)　（1泊朝食付、サービス料・消費税含む）

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	ホテルニューオータニ鳥取	鳥取市今町 2-153 TEL: 0857-23-1111	シングル	15 名	10,500 円
	鳥取ワシントンホテルプラザ	鳥取市東品治町 102 TEL: 0857-27-8111		70 名	9,800 円
	ホテルモナーク鳥取	鳥取市永楽温泉町 403 TEL: 0857-20-0101		40 名	9,800 円
B	鳥取シティホテル	鳥取市戒町 471 TEL: 0857-27-6211		90 名	8,500 円
	ニュー鳥取ホテル	鳥取市富安 2-138-2 TEL: 0857-27-8811		20 名	8,500 円
宿泊斡旋人数合計				235 名	

＊　宿舎が決定次第、㈱日本旅行より「宿泊案内」が送付されます。
　　また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧下さい。

会場・宿舎案内図（会場案内 別途）

会場（県民文化会館）案内図



徒歩　　ＪＲ鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ２０分

バス　　路線バス利用

鳥取バスターミナル（ＪＲ鳥取駅横）から湖山・鳥大線・賀露線など

「県庁日赤前」（所要時間・約５分）　下車すぐ

平成18年　月　日

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名　　印
(特別･賛助会員名)

第517回建設技術講習会(建設リサイクル)申込書

<個人情報の取扱いについて>
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者			勤務先	聴講者別		昼食不要	現場研修	宿泊申込		
	(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○囲みにして下さい)	年齢	(所属課名まで記入のこと)	正会員	非会員	(×印)		予約日にA･Bを記入して下さい 10月3日	4日	5日
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

聴講料

正会員･特別会員･賛助会員		名×　9,800円＝	円
〃	(昼食不要)	名×　8,200円＝	円
正会員(地元)**特別・賛助対象外**		名×　3,000円＝	円
〃	(昼食不要)	名×　1,400円＝	円
※正会員(地元)とは、開催地(鳥取県)内に勤務の正会員(特別･賛助会員は対象外)			
非会員		名×14,800円＝	円
〃	(昼食不要)	名×13,200円＝	円
現場研修料		名×　7,000円＝	円
計			円

↑
現場研修の昼食は不要の申し出はできません※

宿泊予約金
泊×4,000円

計

↓全建に振込　　↓㈱日本旅行に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕
お電話での受付はいたしません。 本紙に、変更･取り消し･追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。 なお、この場合、原本の郵送は不要です。 全建FAX 03－3586－6640 迄

〔聴講時の昼食について〕
昼食時間が限られており、また、会場周辺には充分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。

〔現場研修時の昼食について〕
現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。